

事務連絡  
令和2年4月14日

関係各位

日本学校農業クラブ連盟  
環境調査評価委員会

## 外出自粛要請下における FFJ 環境調査の実施に関する日連の基本的な考え方について

日頃より日本学校農業クラブ連盟の活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、日連では、全国の農業クラブ員が生き物や生物多様性への関心を高め、科学性や環境問題について考える力などを育むことを目的として、今年度も FFJ 環境調査(タンポポ調査)を実施しています。また、本環境調査は農業クラブ員一人ひとりが主体的に取り組める活動として設定をしております。

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により、複数の都府県が緊急事態宣言の対象地域となり、その他各地方自治体においても外出自粛要請が出されているという状況ではありますが、日連として今年度の FFJ 環境調査を全国一律に中止とするということは考えておりません。

理由としては、厚労省の専門家会議の提言等において「3つの密(密閉・密集・密接)」の回避を徹底することが強く求められている一方、少人数による屋外での散歩や運動などについては制限されていないことが挙げられます。「3つの密」を回避するよう徹底した状況の中で、マスクなどを着用したうえ、農業クラブ員が一人ないしは少人数で環境調査を短時間で実施することは、外出自粛要請の趣旨に反するものではないと考えられます。

また、現在休校となっている学校におきましては、本環境調査を家庭学習の一つとしてご活用いただくことも、学習機会の提供という観点から推奨できるものと考えています。

以上が日連としての基本的な考え方ではありますが、各地方自治体からの外出自粛要請の内容や、地域における同感染症の拡大状況、その他当該地域の特性などに応じて、県連成人代表等への相談をもとに、各県連において調査を実施するか否かについては自主的に判断していただいて構いません。

本件につき何かご不明な点などがありましたら、日連ホームページの問合せフォームよりご連絡ください。引き続き、本環境調査活動へのご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。